- ・ラリー期間中は現地北海道の帯広市より参戦情報を掲載します。
- ・応援メッセージ掲示板は<u>こちら</u>



8月31 (木) Vol. 4 本日のサービスフォト

2006/08/31

セレモニアルスタート

【写真左】

カーナンバー 5 ペタ・ソルベルグ 【写真右】

カーナンバー1 セバスチャン・ローブ



8月31 (木) Vol.3 セレモニアルスタート

2006/08/31

ラリーJapan 3 年目のスタートの火蓋が切って落とされた。昨年同様、帯広駅前の車道でのセレモニアルスタートだ。心配していた雨も上がり、沿道は多くのラリーファンに埋め尽くされた。





8月31(木) Vol.2 協賛会社のTシャツを着て記念撮影

2006/08/31

今年も多くの協賛会社のご支援をいただいての参戦ですが、今回、「昴技研」様、「ぴーたーぱん」様よりいただいたTシャツを着て記念撮影を行なった。

【写直左】

「昴技研」様よりいただいた、「BLACK昴ROCK」 とロゴの入ったTシャツを着ての撮影

【写真右】

「ぴーたーぱん」様よりいただいた、カーナンバー「84」の数字の入ったTシャツを着ての撮影





8月31(木) Vol. 1 ラリーカーを前に記念撮影

2006/08/31

今日も帯広は雨。北海道に入ってから、初日・2日目と良い天気だったが、その後はぐずついた天気。今日はラリーカーを前に記念撮影の予定だったが、雨のため予定時刻と撮影場所を変えて行った。本学がWRCに参戦して11年目になるが、撮影時間に雨が降ったのは初めてである。

仕上がったラリーカーを前に記念撮影。カー \mathbb{N} 8 4 ドライバー:大井こずゑ、コ・ドライバー:遠山裕美子



8月30 (水) Vol. 7 本日のサービスフォト

2006/08/30

車検を待つ、№5 ソルベルグのマシン 北海道の深い轍(わだち)を走るために、車高を高めたサスペンションセッティング。





8月30 (水) Vol.6 車検 (part.2)

2006/08/30

【写真中】

検査を見守る、学生メカニックたち。





8月30 (水) Vol.5 車検 (part.1)

2006/08/30

午後2:30、レース前の最大の難関である車検が始まる。

順調に終了するかと思われたが、排気系の不具合を指摘され、再検査となる。今年は例年以上に時間をかけて細部に渡り検査された。結局2時間以上の検査となったが、無事に通過した。







8月30 (水) Vol. 4 完成した本番車両 (part.2)

2006/08/30





8月30 (水) Vol. 3 完成した本番車両 (part.1)

2006/08/30

今年も数多くの協賛会社に支えられWRCにエントリーできました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

「TAKAYAMA COLLEGE RALLY TEAM カーナンバー84」





8月30 (水) Vol. 2 本番車両の最終整備

2006/08/30

午後の車検を前にして、本番車両最後の仕上げを行う。メインの作業は、昨夜主催者から入手したDSCP (セーフティトラッキングシステム)の取り付けと指定ステッカーの貼付。





- Topics Board -

- ・ラリー期間中は現地北海道の帯広市より参戦情報を掲載します。
- ・応援メッセージ掲示板は<u>こちら</u>

MENU: BRCK TOP NEXT 🔒

8月30 (水) Vol.1 レッキ2日目

2006/08/30

レッキ2日目。昨日と同じ、朝6:30に出発。今日は朝から雨。

【写直左】

早朝から、昨日のレッキで泥だらけになったレッキ車を洗車する学生。

【写真右】

レッキに出発するドライバー大井こずゑ氏





8月29 (火) Vol.3 今回参戦メカニックの紹介 part. 5

2006/08/29

【写真左】

- 1. 山田 幸司 石川県 石川工業高等専門学校出身
- 2. チームリーダー
- 3. みんなを信じている
- 4. 練習ができなくなった一週間
- 5. 親へ(行ってきます)
- 6. 言葉の伝達を確実に行う
- 7. エンジンオイル (みんなの動きを滑らかにしたい)

【写真中】

- 1. 渡邉 浩之 岐阜県 (関市立)関商工高等学校出身
- 2. 右リア
- 3. 一ネジ入魂
- 4. アライメントの測定・調査
- 5. 友人へ (絶対完走するので応援よろしく!)
- 6. ドライバー、コドライバーに不安を与える言葉をとらない
- 7. サブフレーム (下からガッチリ支える)

【写真右】

- 1. 水谷 浩子 三重県 愛知学院大学出身
- 2. マネジメント
- 5. 両親へ (ありがとう)
- 6. 初の女性ドライバーなので、女性からの観点でのサポートができれば





8月29 (火) Vol. 2 今回参戦メカニックの紹介 part. 4

2006/08/29

昨日に引き続き、学生の横顔をお届けしたいと思います (残り6名分)

- 1. 氏名・出身県・出身高校)
- 2. ラリーでの担当
- 3. 今の意気込みを?
- 4. 練習で辛かった、苦しかったこと
- 5. 親、友人へのメッセージ(誰に、どんなメッセージ)
- 6. 気をつけたいこと
- 7. 自分をラリー車に例えるどのパーツ? (それは何故)

【写真左】

- 1. 堀越 晋吉 埼玉県 熊谷工業高等学校出身
- 2. パーツ
- 3. 絶対完走!
- 4. 乗鞍での合宿
- 5. 親へ (いろいろ協力してくれてありがとう)
- 6. 体調を崩さないこと
- 7. アンダーガード (目立たないが縁の下でがんばっているから)

【写真中】

- 1. 山内 健史 岐阜県 岐阜東高等学校出身
- 2. 足回りサポート
- 3. 絶対に完走してみせる!
- 4. イベントでのデモンストレーションで大勢の観客の前でミスをしたこと
- 5. 友人へ (昔から抱き続けてきた夢に向かっての第一歩 経験して成長するぞ みんな観にきてくれ)
- 6. なにより安全第一
- 7. クラッチ (いつもやる気がカラ回りして、滑っているから(笑))

【写真右】

- 1. 山城 洋道 東京都 東大和高等学校出身
- 2. 右フロント
- 3. 確実にサービスを行います
- 4. 連日の訓練で鼻血がでたこと
- 5. 親に (無理を聞いてくれ、そして自分を支えてくれてありがとう)
- 6. 見落トスコとがないよう、思い込みしないよう
- 7. ドライブシャフト (右の回転のバランス整って始めて車が安定して走ってくれる)





8月29 (火) Vol.1 レッキ初日

2006/08/29

レッキ初日。天候曇りのち雨。少し肌寒い一日。ドライバー、コ・ドライバーは朝6:30、ワークショップから約130km離れた陸別、足寄方面のSSレッキへ出発。レッキサービスには学生2名を派遣した。

車載カメラの不具合と、午後のSSでのリアタイヤ2本のバーストがあったが、何とか無事レッキを終了。





8月28(月) Vol. 5 細野家恒例ウェルカムBBQパーティ

2006/08/28

今日の作業も問題なく無事終了。恒例になった細野家主催のジンギスカンBBQパーティ。何といっても帯広のジンギスカンは最高です。明日からのレッキにパワーを与えてくれました。

【写真左】ドライバーの大井こずゑさんを囲んで

【写真中、右】 細野家のファミリー



8月28(月) Vol.4 ドライバー、コ・ドライバー ワークショップへ

2006/08/28

今年のWRC JAPAN ドライバー(大井こずゑ)、コ・ドライバー(遠山裕美子)両氏が、学生メカニックの待つワークショップへ到着。

さっそく明日から始まるレッキのため、レッキ車のチェック、車載カメラ装着等の作業を行った。 また今年からレギュレーションの変更によりエンジンのシーリングが必要となり、エンジンブロック にFIA認証タグ取り付けのための加工を行った。

【写真右】





8月28 (月) Vol. 3 今回参戦メカニックの紹介 part. 3

2006/08/28

【写真左】

- 1. 藤原 寬之 群馬県 安中実業高等学校出身
- 2. 室内
- 3. 全員で完走させるぞ!
- 4. 自分のミスで周りに迷惑をかけたこと
- 5. 友人へ (世界ラリーへ行ってビックになって帰ってくるから)
- 6. ミスをしないこと 周りに迷惑をかけないこと ケガをしないこと
- 7. フロントガラス (しっかり前を見て行動したいから)

【写真中】

- 1. 堀田 達也 愛知県 名城大学附属高等学校出身
- 2. エンジンルーム
- 3. 絶対完走!
- 4. 乗鞍での合宿
- 5. 親へ (精一杯がんばります)
- 6. オイルレベル
- 7. ボンピン (目立たないけど、なくてはならないパーツ)

残りの6名は明日お届けいたします。



8月28 (月) Vol. 2 今回参戦メカニックの紹介 part. 2

2006/08/28

【写真左】

- 1. 高良 拓也 広島県 三原高等学校出身
- 2. パーツサポート
- 3. 絶対完走!
- 4. 自分の大きなミスでチーム全体に迷惑をかけたこと
- 5. 過去ラリー出場した地元の先輩へ (教えていただいたことを出し切ってがんばります)
- 6. ケガをしないこと
- 7. サスペンション (パーツサポートとして、みんなを支える役割なので)

【写真中】

- 1. 諏訪 洋輔 岐阜県 高山工業高等学校出身
- 2. 左フロント
- 3. 笑顔でゴールランプに立ちたい
- 4. 乗鞍合宿での練習と睡眠不足
- 5. 親に(迷惑をかけた分大きく成長して帰ってきます) エリちゃんへ (愛してるよ)
- 6. 冷静さを失わないこと
- 7. プロペラシャフト (チームの力をつなぎあわせる)

【写真右】

- 1. 濵地 優佑 愛知県 常滑北高等学校出身
- リアジャッキ
 絶対完走!
- 4. 連日の炎天下での練習
- 5. 友人へ(世界を経験してくるぞ)
- 6. 自分のミス、ケガをしないこと
- 7. LSD (みんなの気持ちを前に押し出す-押し出していきたい-から)







8月28(月) Vol. 1 今回参戦メカニックの紹介 part. 1

2006/08/28

2006年ラリージャパンには学生メカニックとして13名、学生マネージャとして1名の合計14名が参戦しております。みなさんに本戦前の生の声をお届けしたいと思います。(氏名の50音順です)昨年同様、7つの質問に答えてもらいました。それぞれの決意表明(?)をお伝えします。質問内容は、

- 1. 氏名・出身県・出身高校等
- 2. ラリーでの担当
- 3. 今の意気込みを?
- 4. 練習で辛かった、苦しかったこと
- 5. 親、友人へのメッセージ(誰に、どんなメッセージ)
- 6. 気をつけたいこと
- 7. 自分をラリー車に例えるどのパーツ? (それは何故)

【写真左】

- 1. 飯ヶ濵 祥 長野県 武蔵工業大学第二高等学校出身
- 2. パーツリーダー
- 3. 絶対完走!
- 4. 一週間練習がまったくできなかったこと
- 5. 親へ (自分の夢のために協力してくれて本当にありがとうございます)
- 6. パーツリーダーとしてあせらないこと
- 7. エンジンマウント (チームリーダーを支える)

【写真中】

- 1. 大沼 裕一 北海道 苫小牧南高等学校出身
- 2. パーツ (タイヤ担当)
- 3. 北海道生まれの人間として恥ずかしくない作業をする
- 4. 乗鞍合宿での睡眠時間がほとんど取れなかったこと
- 5. 親へ (自動車整備は大変だけど、好きな車で夢の世界の舞台へ立てて幸せです)
- 6. 緊張による凡ミス
- 7. タイヤ (普段は目立たない存在だけど自分にしかできない仕事だから)

【写真右】

- 1. 黒石 拓久 大阪府 桃山学院高等学校出身
- 2. 左リア
- 3. 自分に勝つ
- 4. 同じ失敗を繰り返しサービス時間をオーバーしたこと
- 5. 親へ (行ってきます)
- 6. ミスをしっかり報告すること
- 7. ライトポッド (チームの空気を明るくする)





8月27 (日) Vol. 3 本番車、レッキ車の整備

2006/08/27

作業初日の昼食は「ハンバーガー」。午前の緊張も解け、自然に笑顔も出てきた。(食べ物の前では皆素直です)。

今日の作業は予定通り18時30分に終了した。





MENU: BRCK TOP NEXT 🔒

- <u>Topics Board</u> -

- ・ラリー期間中は現地北海道の帯広市より参戦情報を掲載します。
- ・応援メッセージ掲示板は<u>こちら</u>



8月27 (日) Vol. 2 本番車、レッキ車の整備

2006/08/27

作業初日、朝はまだ口数も少なく、少し落ち着きがない動きであったが、午後になると徐々に慣れてきた様子。ワークショップの雰囲気にも慣れ、作業は順調に進んだ。



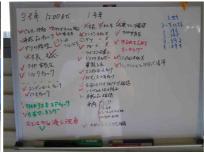


8月27 (日) Vol.1 本番車、レッキ車の整備

2006/08/27

快晴。気温は29度。今年もワークショップは、細野農場(帯広市愛国町)の倉庫をお借りした。 坂井監督の"世界ラリー実習開始"の挨拶でいよいよ11年目のWRCが始まった。 今日のメニューは本番車両の整備、レッキ車両の最終仕上げ。不良部品有無のチェックやドライバー やコ・ドライバーの希望している部品の交換作業や調整をおこなった。







8月26 (土) いよいよ始動。北海道の大地へ

2006/08/26

8月26日早朝、2006 WRC JAPANは始動した。 学生メカニック13名、学生マネージャ1名の計14名が 北海道に向けて出発した。

旅立ちの朝、ガッツポーズで完走を誓う。





MENU: BRCK TOP NEXT 🔒

- Topics Board -

- ・ラリー期間中は現地北海道の帯広市より参戦情報を掲載します。
- ・応援メッセージ掲示板は<u>こちら</u>



9月1(金) Vol.6 Leg.1(夜の45分サービス)

2006/09/01

本日2回目のサービスは、サービス開始予定時間が大幅にずれ込み、20時45分からのサービスとなった。

ここまで、トラブルなく走ってきた。このサービスでも大きな作業はなく、基本的なメニューとなる。

45分サービスを終了し、後片付け等で、結局サービスパークを後にしたのは夜11時近くとなった。明日は早朝サービスもあり、今朝よりも早い。

Leg.1 (最終SS10) を終え、37位と順調に順位を上げてきている。

学生メカニック達に大きな声で、的確に指示を出すチームリーダー(山田君)





9月1(金) Vol. 5 Leg.1 (ライトポッドの装着)

2006/09/01

【写真左】

SS9の前にライトポッドを装着するため、ライトフィッティングゾーンで担当の学生メカニックが一人(堀田君)で作業をおこなった。

【写真中】

SS9を待つカーナンバー84。





9月1 (金) Vol.4 Leg.1 (世界ラリー最初のサービス)

2006/09/01

午前のSS1~SS4を終えたラリーカーがサービスパークへ戻ってきた。いよいよ世界の舞台での最初のサービスが始まる。サービス時間は30分。

昨日までの雨により路面が大きく掘れて轍ができているらしい。そのため、かなりのドロがタイヤハウスに付着していた。

このサービスでは特に大きな作業はなく、タイヤ交換等の基本的なサービスを中心に行なった。 世界のひのき舞台での最初のサービスは順調に終了した。

SS4を終了し、46位。





9月1(金) Vol. 3 完走への思いを込めて

2006/09/01

学生たちは、完走への思いを込めて、顔写真入りの色紙にメッセージを書いている。 ラリーカーに同乗させられた色紙は、学生の願いと共に、北海道の大地を走る。 TCRT(TAKAYAMA COLLEGE RALLY TEAM)のマスコット(完走のお守り?)となった「さるぼぼ」も今年は、ドライバー・大井こずゑさんのカラーにあわせピンクバージョン。この「さるぼぼ」もラリーカーに同乗している。





9月1(金) Vol. 2 ラリー初日Leg.1(スタート)

2006/09/01

スタート前の最終チェックを終え、坂井監督の「みんなでポディウムへ!」と、気持ちを込めたメッセージの後、円陣を組んだ学生たちは、スタート前の気合を入れた。

1号車:7時34分、いよいよスタート。学生達は恒例になった「いってらっしゃーーい」の掛け声でラリーカーを見送った。

今年のラリージャパン、エントリーは90台、出走87台である。





9月1(金) Vol. 1 ラリー初日Leg.1(スタート前)

2006/09/01

いよいよ待ちに待った2006ラリージャパンのスタートだ。昨日の雨もすっかり上がり快晴である。学生メカニックは早朝6時にサービスパークへ。 サービスパークに到着し、学生の緊張感が高まってくるのが伝わってくる。

【写真左】

サービスパーク全景

【写真中、左】

スタート(7時34分)を前にし、ラリーカーの最終点検を行なう。







- ・ラリー期間中は現地北海道の帯広市より参戦情報を掲載します。
- ・応援メッセージ掲示板は<u>こちら</u>

MENU: BRCK TOP NEXT 🔒

9月2(土) Vol.6 Leg2 (夜の45分サービス)

2006/09/02

SS19でもタイヤのバーストがあった。その影響で、右リアのラテラルリンクの交換に迫られた。 このサービスでの、その他主なメニューは、ミッションおよびエンジンオイル交換。

さらに、ハンドル操作の点検でガタツキを発見したため、ラックエンドの交換をするという、盛りだくさんのメニューとなった。

Leg.2 (SS21) を終え、42位。





9月2(土) Vol. 5 スバルSTIサービステントへ見学

2006/09/02

本学卒業生の泉君(スバルSTI勤務)の計らいで、学生メカニックたちをスバルSTIのサービステント見学に誘っていただけた。普通入ることのできないワークスチームのサービステント内を見学させていただき、世界トップチームとの「違い」を感じた。







9月2(土) Vol.4 学生たちを支える周囲の面々

2006/09/02

WRC参戦11年目を迎えた高山自動車短期大学は、過去10年間に、WRCのチームとして世界ラリーに参戦したOB, OGが250人は超える。

2004年から日本での参戦となり、多くの卒業生らがここ北海道まで応援に駆けつけ、チームを支えてくれている。

写真はいずれも本学卒業生(WRC参戦者) 【写真左】 左から、橋本君、岡村さん、多田君 【写真中】 スバルSTIの藤原君 【写真右】

左から、スバルSTIの泉君、坂田君







9月2(土) Vol. 3 Leg2 (30分サービス)

2006/09/02

オイルシールが外れたためか、ショクアブソーバにガタつきが発生したため、左右のフロントストラットを交換するのが、主な作業のメニューとなる。

昨日からすると、学生の動きは格段に良くなってきた。

SS13でのタイヤバーストの影響は特になさそうだ。

【写真右】

迅速にタイヤ交換ができるよう、常にタイヤを点検・管理している大沼君。





9月2(土) Vol. 2 陸別(SS12) での走り

2006/09/02

SS12、陸別の山中での走り。

この後のSS13で左フロントタイヤがバーストする。大井、遠山(ドライバー、コ・ドライバー) 両氏で交換し、午前のSSを走りきった。

午前のSS15まで終了し、45位。





9月2(土) Vol. 1 ラリー二日目Leg. 2 (早朝10分サービス)

2006/09/02

ラリー2日目。快晴。ホテルを5時半にでて、サービスパークへ。昨夜も遅くまでミーティングをしていた学生の睡眠時間は3時間程度。

今朝は10分のサービスから始まる。

主なメニューはブレーキの踏み位置点検。とECUの交換作業。

ブレーキの踏み位置点検作業中にブレーキペタル固定ボルトの脱落が見つかり急きょ装着することに。しかし作業しづらい箇所のため、装着作業に時間がかかり、5分オーバーとなる。ペナルティとして50秒課せられた。





高山短期大学WRC参戦情報





- <u>Topics Board</u> -

- ・ラリー期間中は現地北海道の帯広市より参戦情報を掲載します。
- ・応援メッセージ掲示板は<u>こちら</u>



9月3 (日) Vol.8 Leg3 (GOAL) Part.3

2006/09/03

高山自動車短期大学 WRC 11年連続完走の快挙(GOAL!!)

昨年より約1ヶ月も開催が早まったラリージャパン。学生の仕上がり具合が心配されたが、毎晩遅くまでの練習や大会直前までの夏合宿により、学生たちは大きく成長してくれた。WRCの舞台に立ってサービスをするたびに、その成長が実証されていった。そして11年連続の完走につながったと思う。

しかし、その背後には、いろんな方々の応援や協力があったことは忘れてはならない。

カーナンバー84 大井·遠山組 総合38位(78台中) N4クラス29位(54台中)

ラリー開催期間中はもとより、開催前から「応援メッセージ」をいただいた皆さん、今回のラリー参戦に対してご協賛いただいた後援会社をはじめとする各社様、北海道まで応援に駆けつけてくれたOB,OG。そしてラリーを見守ってくださったすべての方々に感謝いたします。

【学生へのメッセージ】

ドライバー(大井こずゑさん)より

TAKAYAMA COLLEGE RALLY TEAMの皆さんのサービスで3日間楽しく車に乗ることができました。ありがとうございました。

コ・ドライバー(遠山裕美子さん)より

一生懸命が一番かっこいいです。皆に出会えて、皆とラリーできて幸せです。



9月3 (日) Vol.7 Leg3 (GOAL) Part.2

2006/09/03







9月3 (日) Vol.6 Leg3 (GOAL) Part.1

2006/09/03

2006年WRC第11戦 (ラリージャパン) は、ローブ (シトロエン) の優勝でレースの幕を閉じた。【写真左】

以下 2位 グロンホルム(フォード) 【写真中】、3位 ヒルボネン(フォード) 【写真右】





9月3(日) Vol. 5 Leg.3 WR C最後の30分サービス (Part. 3)

2006/09/03

SS22で左フロントの下周りを強打したとのこと。アンダーガードと車体の隙間が約10ミリも狭くなっていたが、残りの走行に影響なしと判断した。このサービスでは通常の基本的な作業となった。

【写真右】

サービス状況を見て、迅速にパーツを提供できるよう見守るパーツ班の飯ケ濱君(右)と堀越君 (左)

Leg.3 SS22~SS24終了して 4 1 位 残すは3 つのSSとなった





9月3(日) Vol. 4 Leg.3 WRC最後の30分サービス (Part. 2)

2006/09/03

泣いても笑ってもこれが最後のサービスとなる。 坂井監督より、最後の「ゲキ」があり、学生らは円陣を組んで気合を入れた。





9月3(日) Vol. 3 Leg.3 WR C最後の30分サービス (Part.1)

2006/09/03

ラリー初日から、本学のサービス時にはワークスを凌ぐ(?)数多くのギャラリーが集まる。今日の 昼前の30分サービスにも多くのギャラリーが集まってくれた。

今年の北海道は来たときから「ハエ」に悩まされている。2004年までオーストラリアでのWRC参戦だったが、オーストラリアのハエも凌ぐ数だ。今年の夏が半月ほど、ずれ込んでいるからか?昔なつかしい、「ハエ取り紙」を」天井からつるしているがすぐにいっぱいになる。

【写真右】

ファンサービスも怠らない大井さん。







9月3(日) Vol. 2 Leg.3 早朝10分サービス

2006/09/03

Leg.2 SS19でのバーストで、昨夜の45分サービスでも右リアのラテラルリンク交換時にアライメント測定を行なっているが、今朝のサービスで再度測定の確認をした。結果問題なしで再調整不要。

【写真中】

バーストしたタイヤ

Leg.3のコースは下りが多いため、フロントの車高を5ミリメートル上げる作業も行なった。





9月3(日) Vol. 1 Leg.3スタート前のサービスパーク

2006/09/03

いよいよレース最終日。今朝も学生たちは5時半スタート。サービスパークに入ると、学生たちは自然と集まりミーティング。少しの時間でも最終確認を怠らない。 【写真右】

Leg.3スタート前の大井・遠山両氏の横顔。





高山短期大学WRC参戦情報





- Topics Board -